

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、
医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。

プライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもあります。

1993年に American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会) によって認可され、
現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を義務づけられています。

コースの教材は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップで、
筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれています。

ALSO は LDR における産科の救急の対処を強調していますが、
その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者-医師関係、出産危機における両親のサポート、
そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは2日間です。

レクチャーには妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、
分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性が含まれています。
少人数グループによる重要ワークショップには肩甲難産、胎位・胎向異常、
吸引分娩、分娩中の胎児監視、合併症妊娠の症例検討が含まれます。

プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は3年間有効の認証を受けることができます。

9.13(土).14(日)

ALSO プロバイダーコース

主催：かわぐちレディースクリニック

対象：研修医、産科医、救急 / 集中治療医、助産師、麻酔科医 など

日時	2025年8月・9月	e-learning による講習・テスト
	2025年9月13日(土)	会場にて実技講習
	2025年9月14日(日)	会場にて実技講習
会場	マタニティケアホームつむぎ 1F 多目的室 〒333-0846 埼玉県川口市南前川 2-5-5	
定員	12名 ※公募なし	
共催	NPO 法人周産期医療支援機構 (OPPIC)	
問い合わせ	かわぐちレディースクリニック 担当：助産師 清水 亜希子 ☎：048-265-5290 ✉：koyoshi@hotmail.co.jp 〒333-0846 埼玉県川口市南前川 2-4-20	



医療法人 紡世会
かわぐちレディースクリニック